

4 基本計画に向けて

4 - 1 立地・建設計画

- 1 市内外から来館しやすく、他の文化的施設との積極的な連携を考えた立地箇所の選定を行う。
- 2 建物自体からも文学的雰囲気を感じられ、周辺環境の整備にも配慮する。
- 3 文学館の各種機能が満足に果たせるよう、屋内外のスペースを充分にとる。
- 4 子ども、高齢者、障害者など、誰もが利用しやすい施設づくりに努める。
- 5 既設の文学プラザの運営のノウハウを踏まえた建設計画を行う。
- 6 計画の段階から、学識経験者や市民の意向が反映されるように努める。

4 - 2 運営

- 1 市直営方式、委託方式とにかかわらず、専門的知識を有する職員を十分に配し、運営に当たる。
- 2 運営協議会、各種委員会などを設置し、また「友の会」を組織するなど、広く文学関係者などの協力・参加を得るようにする。
- 3 既設の図書館や文化施設との連携を取り、社会や市民のニーズに柔軟に対応できる運営体制を図る。

4 - 3 スケジュール及び概算予算

- 1 文学館のハード的、ソフト的側面について、十分な検討ができるスケジュールで計画を進める。
- 2 文学館の各種機能が満足に果たせるよう、十分な予算措置を講じる。